



こんにちは

# 白子の議会

です

第128号

平成30年5月17日

編集発行  
千葉県白子町議会  
☎0475(33)2169



▲ ウミガメの丘に新しくモニュメントを設置しました

## 第1回定例会

平成30年第1回定例会が3月7日と13日に開催されました。  
一般質問は、4名の議員が町政をただしました。

- 4議員が一般質問……………2～5ページ
- 条例の改正・補正予算・新年度予算の質疑応答、  
こんなことが決まりました……………6～8ページ



## 町議会を傍聴しましょう。

### 次の定例会は6月14日の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。TEL33-2169  
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

# 一般質問 町政をきく

## 将来の人口目標について

宗島 理仁 議員

**議員** 第五次総合計画において、平成39年度の町の将来人口の目標が1万800人という根拠について伺っていきま

す。そもそも人口について、第四次総合計画では、平成29年度の人口を1万3千人に設定していましたが、実際は1万1千675人であり、10%以上低い実績です。

この原因分析と課題の把握もされないままに、今回の人口目標を1万800人にしたことに、その積算根拠と責任の所在はどこにあるのか疑問を感じます。

各施策による人口増加数の積算や数値目標がないこと、そして希望的観測で出された数字と現実が余りに違っていることに問題はないのか伺います。

## 想定人口であること

**町長** 将来人口の目標というのは想定であり、積算自体も想定であります。

町としては、この計画における人口目標を減らさないよう努力していくつもりです。

## 町民参加の 仕組みについて

**議員** 総合計画は、町民が計画の目的や手段を理解し、地域課題解決の主体となっていくことが重要としていますが、主体である町民が計画に参加する仕組みについて、どう考えているのか伺います。

## 協働のまちづくりを 目指し

**町長** 基本的に、町民みんなが理解して、みんな

で評価し合うというのが理想だと思いますので、協働のまちづくりを目指して進めていきます。

## 地域防災計画 について

**議員** 地域防災計画の修正のうち、町民に周知する必要がある重要な事項を抜き出し、分かりやすい概要版も作成するとしています。

また、作成後は広く周知し、できれば全員の方に防災に関心を持つてもらい、今後の地域防災力の向上に役立てたいとしています。

実際に概要版の配布、周知はどのような方法か伺います。

## 早々に配布の予定

**町長** 町民のみなさんに分かりやすくまとめたものを3月中に完成させ、早々に配布したいと思っております。

## 業務継続計画 について

**議員** 業務継続計画について、庁舎が被災した場合、青少年センターが代替庁舎に指定してあると聞いています。

災害時、青少年センターが代替庁舎として指定されたとき、罹災証明書の申請や生活保護などの手続、住民票等にアクセスできるサーバーが備えられており、災害発生からより早く機能が移転され、業務が再開できるような環境整備されているのか伺います。

## 今後検討していく

**総務課長** データセンターと青少年センターに現状、配線はされておりません。

そのため、すぐ業務移転ができませんので、今後、財政的な面も考慮しながら検討してまいります。

# 在宅医療、介護連携推進事業は

東海林 東治 議員

**議員** 在宅医療、介護連携推進事業は、平成27年より介護保険法の地域支援事業として位置づけられ、市町村が、医師会と連携を図り、在宅医療の基盤整備の実施主体として、8項目の事業を平成30年4月から実施の責務と役割が、国より求められております。

白子町は、どの様な施策をもって実施されるかを伺います。

## 調査と情報

**町長** 地域医療、介護の資源の把握については、調査実施を範囲とし、介護関係機関の情報を基に必要な方に情報提供を常時行っており、町ホームページからも確認できます。

## 抽出と対応策は

**議員** 対応策は、情報を

国保、後期高齢者医療、介護保険レセプト等のデータを収集し、在宅医療需要、供給等の分析で把握出来ます。調査は、一貫性でなく、定期的観測時系列で評価が可能となり、今後の量的課題を抽出し、連携の在り方や理想と現実のギャップを埋める訳ですが、当局の見解を伺います。

## 限られた資源活用

**町長** 有資格の担当職員、介護担当、包括職員が月1回会議を開催し、情報交換し、連携をとっております。

医療資源は、限られておりますので、いかに有効に活用するか、また広域的な取り組みを含め、対応可能な体制をとってまいります。



## 提供体制と情報共有

**議員** 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制と情報共有の支援が重要であります。

療養生活は、切れ目がなく、急変時、夜間、休日を含めた医療体制と介護関係者の情報共有支援は、ICT機器の活用がカギと思いますが、当局の見解を伺います。

## 今後の対応予定

**健康福祉課長** 千葉県の地域生活連携シートを活用いたしましたして、情報共有しています。

マネジメントについては、企画立案が出来ておりません。

## 相談支援と研修

**議員** 地域包括支援センターは、介護関係の相談窓口で、医療が入る問題は、この相談窓口を今後発展させる必要があると思えます。

医師、歯科医師、介護

専門職が連携した研修と医療、介護の相談窓口の施策を伺います。

## 難問題の課題

**町長** 医療関係者、介護者が一堂に会する場を設けることが難しく、実際はケースバイケースで相談を受けて対応しております。

現実、医療機関で受診し、そして在宅介護は、介護側の家族が大変なことともわかります。介護と医療の連携体制を築く努力をしております。

## 住民への普及啓発と

### 周辺市町村の連携

**議員** 広報、ホームページ、包括センター情報等々を住民への普及活動と在宅介護連携に関する郡内市町村の連携とICT活用は、出来ているかを伺います。

## 健康フォーラム開催

**健康福祉課長** 年1回、

医師会主催による健康フォーラムを、茂原市民会館において開催しております。関係者には情報提供しております。

ICT化については検討までに至っておりません。

## 肺炎球菌ワクチン

**議員** 成人用肺炎の感染が、年間百万人に上るとされ、3万人余りが死亡している状況です。

白子町の接種率は、42.5%であり、高額医療費に繋がる傾向に対して今後の対応策を伺います。

## 普及広報活動の推進

**健康福祉課長** 肺炎球菌ワクチン接種は、65歳から5歳刻みの方を対象に任意接種助成を実施しております。4月に対象者へ通知し、届き次第何時でも接種出来ます。広報活動の推進を図ります。



## 南白亀小学校南口の隣に

### 出口専用口の設置を

石井 和芳 議員

**議員** 小学校では徒歩通学を原則にしておりますが、児童数の減少、交通事情等により保護者は已むに已まれず送迎を常態化しています。

南白亀小学校南門駐車場は、狭く切り返しが厳しいので、出口専用口を設けるべきと思われますが、見解を伺います。



## 今回、送迎用に東門を活用することをしました

**教育長** 教育方針として歩くことの教育的意義は多くありますので、徒歩通学を奨励しています。

しかし特別な事情があり送迎が必要な場合には、東門から入り、体育館前の駐車スペースを活用することに改善しました。

## 2040年小学校3校維持が本当に可能か

**議員** 出生数を見ても24年度67人、25年度52人、26年度62人、27年度52人、28年度50人、29年度47人と通減傾向は続いています。白子町は学校再編計画を立てないで、このまま進んで行くのは、問題の先送り以外何物でもないと考えられます。

現在の小学校3校体制を維持する根拠として、人口の増加を前提にしています。

毎年、30歳前後の夫婦と子供2人の世帯を10世帯程度移住させ人口を増加させるとしています。

まさしく絵に描いた餅であります。現実に即した施策をすべきと思いますが見解を伺います。

## 移住、定住の促進、子育て支援で人口減少の歯止めを掛けたい

**町長** 人口減少に歯止めをかけるという目的で、第5次総合計画においても、重点施策として、子育て支援、移住定住の促進を掲げておりますので、当面、学校再編計画は立てません。



## 文科省の指針に従わないのか

**議員** 文科省の27年1月策定の小中学校の「適正

規模、適正配置等に関する手引き」では、各学年1クラスでクラス替えの出来ない小中学校は、児童、生徒の増加が見込めない場合、速やかに統廃合すべき、とある。

現状白子町の3小学校は、すべてこの条件に適合しています。児童数の増加という殆ど実現不可能な希望的観測を根拠に、このまま放置しておいて良いのか見解を伺います。

## 複式学級にならなければ良い（1クラスに複数学年が同居する。）

**教育長** この先、数年の出生数を勘案しても、1クラス10名以上を確保できるとみています。よって複式学級にはならないので、統廃合は考えていません。

**教育委員会**としては、複式学級だけは避けたいという思いが強く、今後そのようなことが近づいたら、再編なり統合なり

の考え方を出して、議論してもらいたいと思います。

## 公共施設の総合管理計画に学校再編計画も勘案すべき

**議員** 白子町の公共施設の総合管理計画は綿密に立てていないということですが、学校は公共施設として、かなりの部分を占めています。

学校再編は避けて通れないと思います。公共施設の総合管理計画と整合性を持たせ、計画的に進める必要があると思うが見解を伺います。

## 今後、状況を確認しながら進めていきたい

**町長** 学校に関しては、今教育長が答弁した方針が出ていますが、何もしないという訳ではありません。

状況を把握しつつ、可能な努力は進めていきますが、想定論での議論は避けたいと思います。

## 教員の働き方への認識は

市川 隆子 議員

**議員** 教員の長時間労働は1990年ごろから深刻化して、マスクミでも教員の多忙化や病気休職の急増が取り上げられました。

国による教員勤務実態調査の結果、平均1日3時間37分の超過勤務という深刻な長時間労働でした。

教育委員会としてどのように認識されているのか伺います。



## おおむね3時間位の超過勤務

**教育長** 教員は、授業準備、部活指導、校務事務

処理等で、かなりの時間が使われており、出勤から退勤まで、おおむね3時間位の超過勤務になっています。

これからも、出退勤時刻を把握しながら縮減ができるよう努めていきます。

## 中教審中間まとめのとりえ方は

**議員** 教員の負担軽減は、教育委員会で取り組まれたにもかかわらず、勤務時間はさらに伸びているそうです。

その結果、国は中央教育審議会に、学校における働き方改革について諮問を行いました。

中教審はこの問題を審議し、中間まとめを公表しました。

町は、中間まとめをどのようにとらえているのか伺います。

## 段階を踏んで

## 取り組み必要と認識

**教育長** 中教審の緊急対策を受けて、文科省事務次官から通知文書が出されましたが、1市町村だけで改善できるものではなく、国や県からの財政支援、人的支援がなければ達成できない項目が多数あります。

時間と費用と人材をかけて段階を踏んで改善に取り組んでいく必要があると認識しています。

## 国保保険者努力支援制度の今後の対応は

**議員** 保険者努力支援制度は、より多くの加点をもらおうと思えば、自治体間で競争して、最終的には医療費の削減をさせるということだと思います。

この制度は、最高275点、体制構築加点を含めると345点です。県も、町も平均以下で、今後どのように対応するのか伺います。

また、健康面では保健師の配置も必要だと思いますが、現在保健師は何人いるのか、多い時は何人だったのか伺います。

## 加点の多い項目は

## 継続していく

**住民課長** 加点にかかる達成基準は、ハードルの高い項目も多々ありますが、町で28年度の実績で獲得できた加点の多い項目は、引き続き点数を得られるよう継続していきたいと思っています。

**健康福祉課長** 保健師は現在3名で、4月から1名増の予定です。

一番多い時は5名おりましたので、30年度も募集する予定です。

## 緊急通報システム日中ひとり暮らしの方にも

**議員** 緊急通報システムを利用していらっしゃる方は、持っているだけでも安心だと話していました。

現在は、ひとり暮らしの方が対象ですが、持病のある方で日中ひとりになつてしまう方にも対象を広げたいことを検討しているか伺います。

## 利用拡大を図っていくので内容検討する

**町長** 新年度からは、新たに身体障害者世帯、高齢者世帯を対象に取り組みたいと思っています。

利用拡大を図っていくというところで、内容についてはもう少し検討します。色々な事例も参考にやっていますので、期待に応えられるのではないかと思います。



# 補正予算・平成30年度 予算等に対する質疑応答

白子町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案第11号

【市川隆子 議員】

議員 第7期計画の保険料改定ですが、なぜこんなに高くなったのか。

また、郡内での状況を伺います。

町長 給付額が増え、温かなサービスをしているという現実があります。保険料は、郡内で一番高くなっています。今後は、給付内容の検証をすすめます。

平成29年度白子町一般会計第5回歳入歳出補正予算について

議案第18号

【宗島理仁 議員】

議員 公共施設整備基金積立金が5千万円計上し

た根拠を伺います。

財政調整基金等を差し引いて目安で5千万円となったのか、あるいは、何億円を何年間で積み立てて、何かを建設しようという計画に従ってなのかを伺います。

町長 庁舎が老朽化していますので、そのことが一つの目的ですが、庁舎を建設するとなると、20億、30億という金額がかかりますので、具体的な計画はたてておりませんが、とりあえず積立を始めたということでご理解いただきたいと思っています。

【市川隆子 議員】

議員 個人番号カード交付事業は、国の予定数には相当の時間がかかるため、という説明がありました。また、誤発送等の事故

なども報道されていますが、目標数まで繰越明許費で続けていくのか伺います。

住民課長 申請1千2百54件、そのうち発行が1千87件で、全人口の9.5%という状況です。

また、目標数に届くまで続けていく考えでいます。

【大和多秀一 議員】

議員 年度末の最終補正予算が、1億4千万円の減額補正となったが、事業実績の減によるものであるのか伺います。

特に道路維持費については、50%が更正されていますので、その理由について伺います。

町長 今回の補正額は、予算総額の3.3%に当たります。これを執行残として残す方法もあります

が、決算審査で指摘をされましたので、実績に応じて補正をしたものです。

また常に節約を心掛けるので、その成果もあると考えています。

道路維持費の工事費が

減額となったことについては、平成29年度から主要事業の舗装修繕工事が、国55%補助から年度途中で起債事業に変更になりました。このことにより予定していたものが、最小限しか執行できず減額補正となつてしまったものです。

平成29年度白子町介護保険事業特別会計第3回歳入歳出補正予算について

議案第21号

【市川隆子 議員】

議員 居宅介護サービスの給付費は、ほかの給付事業が増額になっているのに、5千2百80万円の減額という理由を伺います。

健康福祉課長 利用者が減ったこともひとつの要因です。施設介護サービス費が4千万円の追加補正で、入所者が増えたという関係もあります。

平成30年度白子町一般会計歳入歳出予算について

議案第23号

【宗島理仁 議員】

議員 避難所運営マニュアル作成業務委託料について、具体的にこのマニュアルとはどういったものなのかを伺います。

誰のための避難所の運営なのか、町民なのか行政なのかボランティアなのか。そして、町民向けであった場合、その周知方法はどのようにしているのかを伺います。

総務課長 住民及び行政を対象にした、避難所運営マニュアルを作成します。

パンフレットを作成し、訓練等で実践していきます。

議員 白濁地区に緊急避難施設を整備する考えはないのか見解を伺います。

町長 南白亀地区に1カ所できまいますから、その状況等も踏まえて、みなさんと議論していきたいと思っています。

【今関勝巳 議員】

議員 年度末で何名の保育士が退職をして、新規採用が何名いるのか伺います。

町長 理由は別々ですが3人退職します。3人分の補充はしてあります。

若い職員が多いので、産休・育休に入り正規の職員が100%対応できない現実もありませんが、4月からは、不足しない体制が取れると思います。

議員 保育士の臨時職員の賃金が4千3百58万円の計上がありますが、1人当たりの給料がいくらか伺います。

町長 臨時職員は、給食の調理員を含めて18人使っております。相応に同じ仕事をするわけですから、相応な報酬を払って、気持ちを一いつにしてやってもらいたいと願っております。

【大多和正之 議員】

議員 福祉タクシー助成制度と合わせ、妊婦さん限定の出産時送迎タクシー制度を創設する考えがあるか伺います。

町長 福祉タクシーの分野

で妊婦さんという提案は良いので、検討させていただきます。



議員 今年度、教務用のICT機器を導入しますが、今後のICTの計画はどのようにすすめるか伺います。

町長 ICT教育には当初4年位の計画でと考えていましたが、財源の問題、近隣市町村との動向を見ながら、色々な意見がありますので、状況を見極めて対応したいと思います。

議員 28年度決算で土地開発基金9千6百万、防災基金6千百万があります。基金を活用して白濁地区の避難施設設置の考えがあるか伺います。

町長 避難所については、地域のみなさんと場所等、色々議論を行いましたと思うので、ご協力をお願いいたします。

【大多和秀一 議員】

議員 農林水産事業費の機構集約協力金交付事業の内容について伺います。

併せて、中間管理事業を活用すると、軽微な農地基盤整備が受益者負担なしですすめることができると聞いていますが、この内容についても伺います。

町長 新しい法律の施行により負担なしで取り組める、土地改良事業ができるようになりました。ただしこれには条件が色々あり、ひとつは中間管理事業にのせる地区を選定することになります。

またこれにより、効率の良い農業経営の実践、収益の増加が計れるという条件も必要になります。町内では、南日当地区などがその候補になっています。

機構集約協力金については、中間管理機構に農地を貸し付けることにより協力金が所有者に支払われるものです。1ha未満の場合は10a当たり3万円、1haから2ha以下で50万円となっています。

【市川隆子 議員】

議員 健康ポイント事業は、新年度は何人を目標としているのか伺います。

また、健康面での検証結果を出せないか伺います。

町長 健康づくりの柱にしてすすめています。現在1千1百50人を上回っています。今後は2千人を目指して取り組みます。

また、あくまでも計算上ですが、健康に対して9千万円位プラスだったと聞いています。

今後は、食育も含めて健康づくりにつなげていく必要があると思っております。

議員 国民体育館のトイレが、冬などはとても冷たくて使いづらいという声が利用者からありました。ウォシュレットなど利用しやすく改修できないか伺います。

町長 国民体育館のトイレは、改修するようにいたします。

平成30年度白子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について 議案第24号

【市川隆子 議員】

議員 国保税が、前年度より4千4百18万1千円減となっておりますが、前年度に比べての見込みを伺います。

住民課長 主な減の要因として被保険者の減少があり、平成29年1月で3千9百81人、平成30年度で3千7百33人です。2百48人の減となっておりますので、これらを加味した中で、国保税の推計を行っています。

議員 保険者努力支援分として4百16万円計上されていますが、どの位の加点を見込んだものか伺います。

住民課長 現在の見込みでは、最高得点が8百50点ですが、2百26点を獲得の目安としています。

4百16万円の積算ですが、2百26点獲得したものに1点当たり幾らという金額が出されている訳

ではなく、県が計算した額を予算計上するよう通知がありました。

**平成30年度白子町後期高齢者事業特別会計歳入歳出予算について**  
議案第25号

【市川隆子 議員】

議員 後期高齢者医療の保険料改定の内容について伺います。

**住民課長** 平成30・31年度にわたる保険料の改定です。変更内容は、所得割額7.93%が7.89%になり、0.04%下がります。均等割額は、4万4千円が4万1千円になり、6百円の増となります。賦課限度額は、57万円が62万円になり、5万円の増となります。これにより、町の後期医療の保険料は、1人当たり4万2千93円から4万6千4百1円となり、10.2%・4千3百8円の増額となります。

平成30年度白子町介護保険事業特別会計歳入歳出予算について

議案第26号

【市川隆子 議員】

議員 介護保険予防生活支援サービス事業は、新年度は何人を見込んでいるのか。また、ケアプランの委託先などは、それぞれが選ぶのか伺います。

**健康福祉課長** ふれあい幸民館は、ふれあいセンターで毎週1回で定員は15名、いきいき健康教室は定員14名です。脳の若返り教室は、1時間定員8名、全部で24名、ミックストレーニングは、定員はありません。

また、機能訓練教室は、毎週各ふれあいセンターで1カ所30名の定員です。

ケアプランについては、全て包括にお願いするようにしています。そして、包括から委託するようにしています。



**同意**

◇白子町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

固定資産評価審査委員に次の者が提案され、全員賛成で同意されました。

氏名 高山林作 (再任)  
住所 関1585番地 (関北区)

◇白子町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

教育委員会委員に次の者が提案され、全員賛成で同意されました。

氏名 高山栄子 (再任)  
住所 関3886番地5 (関北区)

**発議案**

【発議案第1号】  
県道茂原・白子バイパス整備促進に関する意見書 (可決)

【発議案第2号】  
千葉県循環器病センターの存続を求める意見書 (可決)

【発議案第3号】  
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

**議案**

白子町一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてなど、28件の議案が審議され、いずれも可決されました。

詳しくは、広報しらこ4月号をご覧ください。

**編集後記**

若葉が目にはさわやかな季節。新入生、新社会人の初々しさが光る時であります。少しづつ緊張が解れると「春眠暁を覚えず」顔拭いて顔細りけり目借りどき」とカエルの目借り時の詩があります。

「しきりに眠気をもよおすのは、蛙に目を借りられた為」という民間俗説からきたものとか。ちよつと滑稽な表現は、顔を洗っても、拭いても、しつこくつきまとう春の眠気、絶妙に表現されています。

眠い目を開けることも難しいが、きちんと目を開いて物事を見極めていくことは、さらに難しい。アメリカの思想家ソローは「私はまだ目ざめきっている人間にあつたことがない」という、「われわれが目覚めうる日のみが曙けるのだ」と喝破しております。

東海林 東治